



2021年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社シンシア
 コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5615)9059

定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日

2022年3月31日

有価証券報告書提出予定日 2022年3月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	4,557	8.8	105	49.9	113	47.2	83	41.0
2020年12月期	4,188	4.1	209	45.9	215	41.7	142	86.5

(注) 包括利益 2021年12月期 153百万円 (61.9%) 2020年12月期 94百万円 (31.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	13.39	13.32	4.2	3.7	2.3
2020年12月期	22.92	22.70	7.4	7.5	5.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	3,289	2,040	62.0	325.47
2020年12月期	2,897	1,967	67.9	313.95

(参考) 自己資本 2021年12月期 2,040百万円 2020年12月期 1,967百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	423	75	258	1,087
2020年12月期	262	60	74	1,155

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期		0.00		13.00	13.00	81	56.7	4.1
2021年12月期		0.00		5.00	5.00	31	37.3	1.5
2022年12月期(予想)		0.00		6.00	6.00		31.9	

2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 特別配当6円00銭

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,875	7.0	174	65.7	170	49.5	117	40.3	18.78

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ジェネリックコーポレーション
除外 - 社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期	6,862,200 株	2020年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2021年12月期	594,211 株	2020年12月期	594,140 株
期中平均株式数	2021年12月期	6,267,997 株	2020年12月期	6,209,868 株

(参考)個別業績の概要

2021年12月期の個別業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	4,467	9.9	101	54.4	107	46.2	73	42.8
2020年12月期	4,065	1.9	222	48.2	199	51.8	128	112.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	11.76	11.70
2020年12月期	20.77	20.58

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年12月期	3,161	1,977	1,977	1,977	62.6	315.54	315.54	
2020年12月期	2,795	1,907	1,907	1,907	68.2	304.27	304.27	

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,977百万円 2020年12月期 1,907百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、2021年9月30日に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルスワクチン接種が進んだことなどから新規感染者数も大幅に減少し、経済・社会活動は緩やかながら回復に向かいつつありましたが、半導体不足による各産業への影響や原油をはじめとする資源価格の高騰等に加え、感染力の強い新型コロナウイルス変異株(オミクロン株)の世界的な流行が懸念されるなど、国内景気の見通しは依然として不透明な状況であります。

また、世界経済は、欧米諸国を中心にワクチン接種の普及等により行動制限の緩和策が取られ、経済・社会活動は国や地域によるばらつきがあるものの回復しつつあります。一方で、半導体不足や資源価格の高騰等に加え、オミクロン株による感染症の再拡大が懸念されるなど、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや近視人口の急激な増加・若年化が進んでいること、また、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測しております。しかしながら、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の競争が激化していることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大により外出自粛の動きが広がるなど当社を取り巻く環境は厳しい状況が継続しております。

このような状況の中、当社ブランド商品につきましては、クリアレンズは当社主力商品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」の売上高が967,661千円(前連結会計年度比47.4%増)、ドラッグストア専売コンタクトレンズである「1Day EyeWell」シリーズの売上高が197,599千円(同28.4%増)などと順調に拡大し、売上高全体で2,175,033千円(同26.3%増)となりました。一方で、カラーコンタクトレンズは、新型コロナウイルス感染症拡大により外出自粛の影響などにより売上高が422,690千円(同4.4%減)となりました。また、プライベートブランド商品につきましては、クリアレンズは、販売各社における販売計画の遅延等により売上高が1,270,527千円(同4.3%減)、カラーコンタクトレンズは第4四半期に大型案件の獲得などがあったものの新型コロナウイルス感染症拡大による需要減をカバーするには至らず売上高が688,932千円(同1.0%減)と厳しい状況が継続しております。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高が4,557,183千円(同8.8%増)となりました。売上総利益は、為替レートが円安方向に推移したこと、当社及び海外子会社における商品の評価損をそれぞれ19,641千円及び13,549千円計上したものの売上高増加が寄与し1,377,263千円(同3.8%増)となりました。しかしながら、「Fairy海外旗艦店」において販売促進活動などで59,961千円の費用が発生したことやマーケティング部門強化を目的としたマーケティング人材の採用及びマーケティング活動の強化などにより販売費及び一般管理費が1,272,066千円(同13.9%増)となりました。この結果、営業利益は105,197千円(同49.9%減)、経常利益は113,888千円(同47.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は83,934千円(同41.0%減)となりました。

なお、当連結会計年度より「Tmall Global(天猫国際)」へ出店した「Fairy海外旗艦店」での売上高は中国政府によるゼロコロナ政策の影響などにより当初の見込みを大きく下回り、当社グループ全体の利益を押し下げる要因となりました。このような中、「Fairy海外旗艦店」の継続は困難であると判断し2022年2月末をもって閉店することといたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の財政状態は次のとおりであります。

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ392,396千円増加し、3,289,532千円となりました。主な要因は、外国為替差入証拠金が84,499千円、現金及び預金が68,243千円それぞれ減少したものの、商品が208,234千円、受取手形及び売掛金が201,289千円、デリバティブ債権が70,139千円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ320,224千円増加し、1,249,489千円となりました。主な要因は、未払法人税等が82,456千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が37,192千円、デリバティブ債務が33,922千円それぞれ減少したものの、長期借入金が259,996千円、1年内返済予定の長期借入金が80,004千円、流動負債のその他に含まれる前受金が79,005千円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ72,172千円増加し、2,040,043千円となりました。主な要因は、繰延ヘッジ損益が78,382千円、親会社株主に帰属する当期純利益83,934千円の計上及び剰余金の配当81,484千円により、利益剰余金が2,449千円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ68,243千円減少し、1,087,584千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益120,637千円の計上及び前受金79,005千円の増加があったものの、たな卸資産179,008千円の増加、売上債権166,569千円の増加及び法人税等の支払額130,478千円の計上により、423,595千円の減少(前連結会計年度比686,220千円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出30,064千円を計上したものの、外国為替差入証拠金84,499千円の減少及びデリバティブ取引による収入17,400千円の計上により、75,696千円の増加(前連結会計年度比136,181千円の支出減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額81,450千円の計上及び長期借入金の返済による支出60,000千円を計上したものの、長期借入れによる収入400,000千円の計上により、258,500千円の増加(前連結会計年度比333,292千円の支出減)となりました。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルスの新たな変異株による感染再拡大が見られますが、ワクチン接種が進んでいるため、経済活動への影響はこれまでと比べ限定的であると予想されます。一方で、半導体の供給遅延や国際貨物輸送の需給逼迫などのリスクは依然として残り、世界景気の先行きは不透明な状況です。そのような中、長期にわたる各国・各地域のさまざまな経済対策や財政政策が下支えする形で、世界経済は回復基調を維持するものと想定しております。

このような環境の下、当期に売上高及び取扱店舗数を順調に拡大できたシリコンハイドロゲル素材の「SINCERE S」シリーズにおいて売上高及び利益の更なる拡大を目指して参ります。

また、次期は「既存販路での売上拡大」、「ブランドロイヤリティの向上」及び「マーケティング活動の推進」の3点を重点施策として掲げ、処方施設やドラッグストアを中心とした既存販路において新規顧客の獲得やブランドスイッチなどにより店舗・得意先ごとの売上高及び利益を拡大させつつ、マーケティング部門を中心にブランドロイヤリティの向上のためのマーケティング活動にも注力して参ります。

その中で、当社の主力商品である「SINCERE 1DAY S」の売上高は当連結会計年度比18.1%増の1,143,237千円、また、当社が従前から注力しているドラッグストアチャンネル向け商品である「1Day EyeWe11」シリーズの売上高は同6.0%増の209,350千円を計画しております。

販売費及び一般管理費につきましては、積極的なマーケティング活動は継続していくものの、「Fiary海外旗艦店」閉店に伴い、同店舗での販売促進費などが発生しないことに加え、引き続きコストの見直しを推進していくことから当期に比べ減少する見込みであります。

以上の状況を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高4,875,527千円(当連結会計年度比7.0%増)、営業利益174,361千円(同65.7%増)、経常利益170,265千円(同49.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益117,721千円(同40.3%増)を見込んでおります。

今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響を含め、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

なお、想定年間平均為替レートについては、115.0円/USDと設定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間比較可能性を確保するため、日本基準にて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,827	1,087,584
受取手形及び売掛金	679,097	880,386
商品	557,782	766,017
貯蔵品	122,902	101,568
前渡金	13,758	29,551
未収還付法人税等	2,953	36,772
デリバティブ債権	—	70,139
外国為替差入証拠金	230,168	145,669
その他	55,104	104,799
貸倒引当金	△57,256	△58,043
流動資産合計	2,760,338	3,164,445
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,915	26,579
減価償却累計額	△18,187	△4,231
建物(純額)	727	22,347
工具、器具及び備品	50,003	66,778
減価償却累計額	△43,097	△52,115
工具、器具及び備品(純額)	6,905	14,663
建設仮勘定	8,261	—
有形固定資産合計	15,895	37,009
無形固定資産	7,264	7,694
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	61,825	5,650
その他	52,670	74,732
貸倒引当金	△859	—
投資その他の資産合計	113,637	80,383
固定資産合計	136,797	125,087
資産合計	2,897,135	3,289,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,978	179,197
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	140,004
未払法人税等	82,520	63
デリバティブ債務	33,922	—
賞与引当金	9,380	9,640
株主優待引当金	—	2,632
その他	197,463	259,955
流動負債合計	744,264	791,493
固定負債		
長期借入金	135,000	394,996
長期預り保証金	50,000	63,000
固定負債合計	185,000	457,996
負債合計	929,264	1,249,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	325,642	325,642
利益剰余金	1,765,101	1,767,551
自己株式	△373,862	△373,911
株主資本合計	1,990,304	1,992,705
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△22,494	55,888
為替換算調整勘定	61	△8,549
その他の包括利益累計額合計	△22,433	47,338
純資産合計	1,967,871	2,040,043
負債純資産合計	2,897,135	3,289,532

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,188,300	4,557,183
売上原価	2,861,923	3,179,919
売上総利益	1,326,376	1,377,263
販売費及び一般管理費	1,116,407	1,272,066
営業利益	209,969	105,197
営業外収益		
受取利息	1,116	573
為替差益	12,999	—
デリバティブ評価益	—	5,660
助成金収入	5,641	—
貸倒引当金戻入額	—	5,191
その他	918	5,706
営業外収益合計	20,675	17,131
営業外費用		
支払利息	2,669	2,395
為替差損	—	5,018
デリバティブ評価損	1,500	—
貸倒引当金繰入額	9,286	—
その他	1,423	1,026
営業外費用合計	14,879	8,440
経常利益	215,765	113,888
特別利益		
負ののれん発生益	—	6,749
特別利益合計	—	6,749
税金等調整前当期純利益	215,765	120,637
法人税、住民税及び事業税	108,273	15,120
法人税等還付税額	△7,203	—
法人税等調整額	△27,630	21,582
法人税等合計	73,439	36,703
当期純利益	142,326	83,934
親会社株主に帰属する当期純利益	142,326	83,934

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	142,326	83,934
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△46,255	78,382
為替換算調整勘定	△1,113	△8,610
その他の包括利益合計	△47,368	69,771
包括利益	94,957	153,706
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	94,957	153,706
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	353,422	1,647,607	△411,662	1,862,790
当期変動額					
剰余金の配当			△24,832		△24,832
親会社株主に帰属する 当期純利益			142,326		142,326
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		△27,780		37,800	10,020
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△27,780	117,494	37,800	127,514
当期末残高	273,422	325,642	1,765,101	△373,862	1,990,304

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	23,760	1,174	24,935	1,887,726
当期変動額				
剰余金の配当				△24,832
親会社株主に帰属する 当期純利益				142,326
自己株式の取得				—
自己株式の処分				10,020
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△46,255	△1,113	△47,368	△47,368
当期変動額合計	△46,255	△1,113	△47,368	80,145
当期末残高	△22,494	61	△22,433	1,967,871

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	325,642	1,765,101	△373,862	1,990,304
当期変動額					
剰余金の配当			△81,484		△81,484
親会社株主に帰属する 当期純利益			83,934		83,934
自己株式の取得				△49	△49
自己株式の処分		—		—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	2,449	△49	2,400
当期末残高	273,422	325,642	1,767,551	△373,911	1,992,705

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△22,494	61	△22,433	1,967,871
当期変動額				
剰余金の配当				△81,484
親会社株主に帰属する 当期純利益				83,934
自己株式の取得				△49
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	78,382	△8,610	69,771	69,771
当期変動額合計	78,382	△8,610	69,771	72,172
当期末残高	55,888	△8,549	47,338	2,040,043

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	215,765	120,637
減価償却費	14,229	11,279
敷金償却額	7,954	568
負ののれん発生益	—	△6,749
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,297	△3,914
賞与引当金の増減額 (△は減少)	140	260
受取利息及び受取配当金	△1,116	△573
支払利息	2,669	2,395
為替差損益 (△は益)	10,942	△44,976
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,500	△5,660
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	443	859
売上債権の増減額 (△は増加)	24,335	△166,569
たな卸資産の増減額 (△は増加)	127,552	△179,008
前渡金の増減額 (△は増加)	△12,667	△15,792
仕入債務の増減額 (△は減少)	△90,968	△15,084
前受金の増減額 (△は減少)	407	79,005
預り保証金の増減額 (△は減少)	—	13,000
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,616	△44,314
その他の負債の増減額 (△は減少)	41,298	△39,701
小計	358,401	△294,340
利息及び配当金の受取額	1,116	621
利息の支払額	△2,678	△2,536
法人税等の支払額	△98,451	△130,478
法人税等の還付額	4,236	3,138
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,624	△423,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,010	△30,064
無形固定資産の取得による支出	△985	△3,050
デリバティブ取引による支出	△6,577	△1,705
デリバティブ取引による収入	15,624	17,400
貸付けによる支出	△1,250	—
貸付金の回収による収入	—	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△33,737	△5,234
敷金及び保証金の回収による収入	940	4,351
外国為替差入証拠金の純増減額 (△は増加)	△26,488	84,499
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	4,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,484	75,696

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
自己株式の取得による支出	—	△49
自己株式の処分による収入	10,020	—
配当金の支払額	△24,811	△81,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,791	258,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,447	21,156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,900	△68,243
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,927	1,155,827
現金及び現金同等物の期末残高	1,155,827	1,087,584

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症について、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難ですが、当社グループの業績に与える影響は限定的であるとの仮定のもと、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・深刻化し、当社の事業活動に支障が生じる場合、翌連結会計年度以降の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループは、コンタクトレンズ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	313.95円	325.47円
1株当たり当期純利益金額	22.92円	13.39円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	22.70円	13.32円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	142,326	83,934
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	142,326	83,934
期中平均株式数(株)	6,209,868	6,267,997
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	59,337	35,126
(うち新株予約権(株))	(59,337)	(35,126)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。